

平成 25年 5月 6日

No 107

〔使命〕

私の使命は何か、会社では、家庭では、そして、個人(自分自身)に対して。成功した人、コンサルタント、経営に携わっている人からよく聞かされ、使命感を持つ、理念を持つことが、必要だと、聞かされます。形あるものでないし、何かをただかよく分かりません。私も、経営計画を立てる場合、業績を上げる為には、使命感を持つことが必要だと話したりします。成長する人は必ず使命感があると思っています。しかし、自分にとっての使命感は何だ、どんな行動をすればいいのか、分からず漠然としています。与えられた環境の中で、収入を得る為、行動したり、家庭でも、流れるままに、行動しています。人は必ず何か与えられた使命があると聞かされていますが、みつけられません。

会計事務所でも企業でも、拡大していく会社があります。拡大していくと、留まることなく成長・発展・拡大することに努力をしています。随分儲かっているのに、何で、こゝまでやるのかと感えています。もっともってです。経営者・幹部に使命感があるからだと思います。自分達は、何を、お客様に喜んで頂くか、社員に喜んでくれることが、子どものか、見えていからだと思います。休日中心で、情報提供FAXが流れてきます。休みの日に、何で、こゝまでやるのか、もっと使命感があり、お客様に情報提供をしなければ、お客様の発展、幸せがこたないの思いから出まってくるのかと、思います。回りに、連続して赤字の会社、余分な税金を払っている会社、個人があります。税理士事務所として、お客様が安心、幸せな生活を送れる、困っている時にすぐに行動する。小さくても次の世代へ財産を残せるお客様、社員への支援を徹底してやっていく。

高林 幸裕